

ふるさとで全力を尽くす野球を観に行こう!!

# BCリーグ応援し隊

BASEBALL CHALLENGE LEAGUE

埼玉  
西武

2020

夏ver



参加有志による  
BC「現地レポ」  
再充填!!



3地方12県に跨がる  
ルートインBCリーグ

# はじめに

2020/05/17 頒布予定のサンプルです。

## 目次

球団紹介		4
独立リーグの魅力/ファンになるきっかけ	ナーグリス	6
惜別球人 平常心	amos mil	8
神奈川フューチャードリームス始動!	hisato	19
北国から石川県へ行っちゃおう	浅村悠希	24
試合を見に行く前・後によりたいスポット	モトヒロ	30
2014年BCリーグ「群馬へ突貫遠征!」の巻	たたたん	37
有限会社 ほめるん旅行社	ほめるん	50
富山と彼らとBCL	hisato	55
野球とパンとコーヒーと私	モチ	60
BCリーグの使用球場	鈴谷了	62
応援する、ということ	ごっこ	76
GCSを観戦してきた。	ハチマキくろだ	78
今だからこそ信じたいBCLの力	amos mil	86
表紙・裏表紙	アツアギ	



# ルートインBCリーグ各チーム紹介

ルートインBCリーグでは、加盟球団の地区を東西に分けてリーグ戦を行っています。東地区リーグをFUTURE-East、西地区リーグをADVANCE-Westと命名し、前期-後期制で年間70試合を実施！

2020年度より加盟球団が1球団増えて12球団となり、地区割が変更になっていますよ。そんな12球団をBCリーグのファン目線で簡単に紹介します！

## FUTURE-East

### 【栃木】栃木ゴールデンブレーブス

経営社エイジエック様の豊富な資金力と総合力により多数のスポンサーとファンを獲得。村田雄一や西岡剛などのビッグネームも獲得し、賛否両論もBCリーグでダントツのトップ。

### 【福島】福島レッドホープス

実質、元メジャーリーガーが球団経営社長兼監督のポケットマネー球団。戦力はわりと強いけど、加盟して5年経つがまだNPBドラフト指名がない

### 【茨城】茨城アストロプラネッツ

2019年新加盟。初年度のための戦力不足で、今年も11勝敗を記録してしまっただけ。戦力が広く必要球団が多い。

### 【埼玉】埼玉武蔵ヒートベアーズ

くまちゃんず。応援団がカチ。マスコット：エンビーの青中抜け見所。今年までは最も熱心に近い球団で、メディアへの露出も多いが、資金不足で戦力不足気味…。今年もNPBドラフトで大勝利！！

### 【群馬】群馬ダイヤモンドペガサス

現職NPBペイスターズ監督の村上シズが選手として所属している球団。当たり前のようには商品する。総合力は稼で他球団をいかに。優勝回数も最多！まぐんまぐん観客席の会 のパッシュで有名。

### 【神奈川】神奈川フューチャードリームス

2020シーズンから加盟の新球団。新球団ながら資金力と地元界を活用した分配ドラフトなどで早くも優勝できそうな戦力を揃えてしまう。NPBペイスターズとの連携も密く、横浜スタジアムでも試合やるらしい？



## 【富山】富山GRNサンダーバース

GRNは土曜日のコアの子会社でLOCAL RFPの  
SMET 配付0%の純。リアル野球盤レギュラー  
の古岡直二が4年間監督を務めており、NPBの名  
選手がけっこういる。  
2年連続で1イニング1失点した投手を育てて  
NPBに送り込むなど育成・量産能力も高い。

## 【石川】石川ミナオンスタース

NPBドラフト指名選手数は最多。  
かつてはNPBコーチや育成2監督も在籍。  
NPBドラフト指名者も独立リーグランドチヤ  
ンピオンシップのNPB契約制度もここ。

## 【福井】福井ワイルドラブターズ

昨18年まで福井県ラグビーエスファンタジ  
ムが中心に球団育成の組織になっていたが、  
youtubeのトクサンTVのバック  
アップを受け、ML事業部長が  
球団社長に就任する暫定の措置で  
なんとML球団育成を加速し存続。  
応援は西武ライオンズクラシック

## 【新潟】新潟アルビレックスBC

元々BCリーグは新潟球団を作るためのもの  
だった。一番の事業家系。ファンも多い。  
2020年からヤクルトの監督になる高津宏浩は  
ここでも監督やってた。



## 【滋賀】オセアン滋賀ブラックス

オセアン滋賀ユニテッドBCから改名。  
球団運営の停止めあるが？  
球団運営がガチで名産無い。  
やも正解の成績改善にユニテッドされる。  
空席でも公式戦やるので空席は減算。  
しかし勝てない。だじゃー

## 【長野】信濃グランセローズ

グラン(北スガノ)セローズ(カモツの)  
パワドリがかなりよパワドリ。  
リーグ設立初期から加盟し、戦力もちゃんと  
していたが、初優勝は県内にも11年目の2012。

## ★BCLの原点 — 新潟県・糸魚川市

協力がなくBCリーグ構想が進んでいない。この頃に住んでいた野球少年・  
個人が、少年野球の試合前に急性心不全を患いこの世を去りました。  
翌年5歳……。たった1年しか生きられなかった彼の母親から「最後のプロ野球  
球団を応援したい」と思っていた。息子の願いを叶えて欲しいという手紙を受け、  
奮起したリーグ代表が宿願をかなげるBCLを立ち上げました。

その経緯からBCLでは、A E D 普及活動 (NK178 AED PROJECT) を推進して  
います。そして、個人票の時番第 1 0 は、全チーム共通の永久文番です。



# 借別球人 平常心

amos mil

「独立リーグは夢を叶える場所であり、

同時に夢を諦める場所でもある」

これは、独立リーグファンには有名なフレーズである。

「夢を叶える」＝日本のセ・パ両リーグのプロ野球、それ同等・以上のレベルである海外のプロ野球チーム(MLB(米国)、KBO(韓国)、CPBL(台湾)からの指名・入団)を一般的に指す。しかしながらルートイン BC リーグ(以下「BC リーグ」)でも夢を実現できる選手は極少数で入団した選手の1%未満の確立でしかない。NPB などから指名されない大多数の選手は夢を諦めざるを得ない。そのような選手がリーグから去った場合、社会人野球・クラブチームへ活躍の場を移す選手、指導者、野球関係の裏方として転身する選手もいるが、野球から一切離れ就職する選手が圧倒的に多いのが現実である。

私は 2015 年から埼玉武蔵ヒートベアーズ (以下「ヒートベアーズ」) を応援し、入団した選手が夢を諦め球団を去る姿を嫌になるほど見てきた。

「守備が上手ければ…」「少しコントロールが良ければ…」「球速がもう少し早ければ…」「もう一年プレーを続ければ注目されたのでは…」「年齢が若ければ…」「この年のドラフト会議、ドラフト候補となる学生・社会人の人材が不足していれば…」となど、あと一つ足らず指名に至らなかった選手も多い。応援・注目していた選手が夢を諦める姿を目の当たりにすると口惜し

きを感じる。

過去、夢を追い求めながら諦めざるを得ず退団した選手で最も印象的な選手をヒートベアーズファンが選ぶなら安河内駿介投手(2018 年)がダントツで 1 番になる

だろう。彼は大学時代の怪我のためヒートベアーズで 5 年振りの復帰登板となったが、150 キロ近くの速球を投げ周囲の選手・ファンを驚かせただけでなく、SNS でのビックマウスな発言で野選手なキャラクター



2018.07.29 対橋本ゴールデンブレーブス  
上尾市民 登板する安河内駿介投手

を感じ、だが球場ではファンサービス旺盛な姿、試合中の選手の心遣いなどが見られ、野球の実力だけでなく素晴らしい人間性も持ち合わせておりその年のチームでは絶大な存在だった。ドラフト指名が噂され NPB からの調査書も届いたようだが指名漏れにより惜しまれつつ任意引退…と思いきや翌年クラウドファンディングによりメジャー挑戦するものの無念の帰国、その後ユーチューバーとして活動を開始し、2020 年にまたメジャー挑戦宣言…ここまで破天荒な野球選手は見たことが無い。個人的には「もう 2018 年ドラフトでの指名漏れがあったが、もう一年ヒートベアーズでプレーしていれば長谷川凌大選手(BC 新潟、19 年日本ハム育成 3 位指名)のようにドラフト指名されたかも…」と残念でならない選手でもある。

## ■神奈川フューチャードリームス始動！

HISATO



「神奈川」といえば何を思い出すだろうか。

神奈川といえば横浜、横浜といえば DeNA ベイスターズ？

野球どころ、というのは間違いないだろう。高校野球の名門も多く、野球熱はやはり高い。ベイスターズ人気も年々加熱するばかり。

その野球どころに BC リーグ球団が誕生した！じゃーん！その名は「神奈川フューチャードリームス」！チームの本拠地は藤沢、使用球場は平塚、柳屋原、中井、大和あたりになる。とはいえ、神奈川、DeNA ベイスターズのお隣元だ。

しかも監督は鈴木尚典さんだという！GM には山下大輔さん、球団アドバイザー（からの兼任打撃コーチ就任）に引退したばかりの菅波翔さん、ヘッドコーチに林裕幸さん。発表を聞けば、ベイスターズファンならずとも「えええええ！」という感じだった。

行ってしまう、もう何も怖くない!

# 北国から石川県へ行くおっ!

石川県民生活センター

①はじめに...

「北海道まで、かいどう」です。住んでいる所によっては「前泊(札幌など)しないと新千歳空港へ行くのは」という人もいらっしゃる。

私は札幌に住んでいる身ですので、空港連絡バスでそのまま新千歳へ向かいます。北国と云々にははしゃびますが、<sup>2</sup>キリでござります。今回は「札幌から」を前夜に話を進めて参りますので、予めご了承願います。(たまたタイトルもいろいろと書いてる途中で、息)

## STEP① まず飛行機を予約しよう!

BCLは日程出るのが遅いのですが、使用している球場によっては、使用予定表がネットで公開されているので、ある程度の予約は可能です。石川エリオスタジアムの場合、ホーム(札幌)球場である金沢市民野球場については「かなざわスポーツネット」で予約可能で、ファンクラブ会員(安房スポーツ広場)まで分かってしまいます。がんばりすぎる。

札幌(千歳)~石川(小松)まではもちろん飛行機。ただし、直行便は1本しかありません!しかも、デーゲームだと使えない!... ので、羽田や仙台で乗りかえるルートを使うことがあります。料金は... 札幌までキリですが、片道3万円以上かかる日もあったり。鬼か。まじりに金札デビュー! 土曜は行きか帰りどちらか三夜バスにしてもらうという最終手段で乗り切ります。(東京~金沢)



石川エリオスタジアム  
2009年10月10日  
2009年10月11日

お前が来たか!  
お前が来たか!



2009年10月10日



# 試合を見に行く前・後により たいスポット

前回の合同ではBIG GAMEを取り上げた男、モトヒロです。今回は試合を見に行く前・後に寄りたいスポットを二か所勝手に取り上げます。

この話題BCリーグ要素あるの？と心配されてるかと思いますがご安心ください。ぼっちりBCリーグ要素は踏まえています。なお、情報については古い点もあるかと思われるのでご了承ください。

## ～ドリームバッティングスタジアム～



まずは茨城アストロプラネッツの試合会場、牛久運動公園野球場の近くにあるバッティングセンター「ドリームバッティングセンター」を取り上げます。このバッセンはただのバッセンではないのです。なんと、店内の一角がアストロプラネッツ一色に染まっているのです。屋内にはいるとまずは「茨城アストロプラネッツを応援しています」と書かれたのぼりが目に飛び込んできたのです。さらにもうひとつのぼりが、そこにはなんと坂監督ののぼりがあるではありませんか。堂々としたユニフォーム姿で腕を

組まれており貴様が布越しに伝わってきて素晴らしいかったです。

その後壁を見渡すとアストロプラネッツ関連の展示がびっしり！どんな展示かというと、

- ・試合の日程
- ・チームのポスター
- ・各選手や監督らの個人プロフィール
- ・チームとBCリーグの紹介
- ・その他チームグッズ(タオルなど)

などが壁を占領していたのです。ちなみに私はこの時スーツ姿でおかつ大量に写真を撮っていたものですから地元のいちゃん達に変な目で見られていました。人の勝手だろ！（笑）



2014年BCリーグ

「群馬へ突貫遠征！」の巻

2020/3/22

TAT (TOH)

私は長野県在住で「群馬ダイヤモンドペガサス」という、ルートインBCリーグに所属する群馬県のプロ野球球団を観戦するファンであります。

このBCリーグの存在を本格的に知ったのは2014年5月で、今年になって約6年の付き合いとなります。

さて、今年は新年早々から新型コロナウイルス（COVID-19）が猛威を奮っています。日本だけでなく世界中で未知のウイルスが蔓延し感染者が増加している構図で、三月現在、政府の対策チームや専門家を中心に必死に防疫をしている最中です。何とか食い止めは出来ているものの、国内経済としては人が多く集まる大規模なイベントは開催が難しい状況となっています。ルートインBCリーグも4月11日に開幕するとはしているものの、国内情勢によって日程変更される可能性は残っており、開幕までの練習やオープン戦は無観客で行っています。

世間としても過度な自粛ムードから小規模なイベントの開催も苦勞を要しますが、私含めBCリーグに関わる現場やファンの方々には球団運営における経済の重要性をよく理解しておりまして、予定通りの開幕に向けて感染対策の提案をしたりして知恵を絞り、開催に向けて協力しています。各自に当事者意識があるのが凄いと想います。そんな中で第二回の合同誌の原稿企画があったので、再び参加し空いた時間で原稿を書いています。

今回振り返るのは、2014年5月の南城公園野球場での観戦で「群馬ダイヤモンドペガサス」に興味を持った自分が、しばらくして野球を観に群馬県への遠征に踏み切った時の試合です。

有限会社

ほめるん旅行社

私が社長の

ほめるんです。



弊社では

観光と野球観戦、

どちらもあわせて

楽しみたいという

方向けに、

私自身が過去に

企画し、催行しました

ツアーの紹介を

行っております。

(このツアーは「ほめるん」が主催するツアーです)

ほめるん社長

ほめるん社長

さて今回は、

5年前の2015年7月、

当時開業間もない

北陸新幹線に乗って

富山・石川の各所を巡り、

そして



## 有限会社 ほめるん旅行社

観光と一緒にBCリーグご観戦はいかがですか？

～水の都と百万石のまちを巡る2泊3日～  
あの最強闘人選手が身近で見られる試合観戦も！

日程：2015年7月3日～5日

参加人数：1名（ほめるん）



※内容は2015年当時のものですのでご了承ください。  
※観戦料等はお問い合わせください。

これまた当時絶賛となった  
2人の元BC助っ人選手の  
「直接対決」試合を  
間近で楽しんだ、  
2泊3日ツアーも  
一応紹介いたします。



コースと  
プランです

## BCリーグの使用球種 過去のデータから

野田 了

はじめまして。私は独立リーグ野球の愛好者ですが、住んでいる地域の関係もあって、BCリーグの試合を実際に観戦したことはまだ3回しかありません。(深層にハマっていた時代があって、独立への関心がアイランドリーグから始まったという事情もあります)。

ただ、過去の試合記録に関するデータはいろいろと集めてあります。そこからうかがえる傾向や、ちょっと変わったケースなどについてご紹介したいと思います。本来なら今年はいろいろ新しい話もできたはずなのですが、ご承知の通りコロナウイルス感染症の影響で開幕が延期になり、3月に発表された予告ベースでの記録になります。あと、埼玉武蔵ヒートパースについて言えますが、2019年以前について書く場合は「武蔵」の略称を使いますことをご承知お願ください。

### 【投手が分断か メイン球種の話】

BCリーグは完全右投、右投側とも右投の本拠地を置かず、各球で複数の球場を使用する方針だったとされております。「されております」と書くのは、独立リーグの特色。こうした話の裏付けが非常に難しいためです。リーグの公式サイトは過去数年のリニューアルがあり、10年以上前のニュースリリース記事とんと調めなくなっていきます。

その他、群馬が2014年から高崎市域の野球場を本拠と定め（これは上毛新聞に記事がありました）、今は前移されているようです。2014年に移入した武蔵は群馬市赤くも運動公園野球場を本拠としました。(新聞報のサイトに情報がありませんが、高崎市のサイトを見ると2019年のNPBドラフト海名の欄に「高崎市を本拠地とする」とうたっています)今のところリーグで明確に「本拠地」を定めているのはこの2球団だけで、それ以外は公式にはないということになっています。

では本拠としてどうなのか、ということですが、次に挙げるのは「シーズン公式戦(公式戦扱いするNPB球団やアメリカの独立リーグとの交流戦も含む。地区チャンピオンシップ以降のポストシーズンは含まない。また各球団独自の交流戦の中止試合も含めていない)」の各年度の最多投球数での試合数が、全試合に占める比率を球団別に示したものです。(太文字は、両側の球場が複数あるもの)

2014年までと2015年以降では球場数が大きく異なるようですので、表はこの2つの期間に分けた形にしております。

	2007年		2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	最多	比率	最多	比率	最多	比率	最多	比率	最多	比率	最多	比率	最多	比率	最多	比率
群馬			14	38%	9	23%	11	31%	9	25%	15	42%	9	22%	22	58%
新潟	10	28%	10	28%	7	18%	10	28%	12	32%	9	24%	10	27%	15	41%
佐賀	10	28%	10	28%	10	28%	10	28%	11	31%	11	29%	9	24%	6	16%
富山	7	19%	11	31%	9	25%	9	22%	7	19%	9	22%	10	27%	10	27%
石川	17	47%	15	42%	20	58%	12	36%	22	61%	26	70%	25	68%	19	51%
福井			9	25%	19	44%	18	44%	14	38%	11	30%	15	41%	12	35%

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年	
	最多	比率	最多	比率	最多	比率	最多	比率	最多	比率
福島	8	21%	15	41%	10	29%	11	31%	10	28%
栃木					15	42%	25	68%	19	53%
茨城									7	19%
武蔵	10	47%	21	57%	10	28%	11	31%	9	25%
群馬	26	68%	18	49%	16	46%	19	52%	14	39%
新潟	10	28%	11	29%	10	28%	10	28%	9	26%
佐賀	8	22%	10	28%	7	19%	8	22%	10	28%
富山	13	35%	18	42%	14	39%	13	36%	17	47%
石川	21	58%	24	65%	25	69%	30	82%	30	83%
福井	13	35%	18	47%	12	33%	12	32%	15	43%
滋賀					15	42%	19	54%	14	39%

こうして比べると、球団ごとに顕著な違いがあることがわかりますね。石川は4年目を迎は一貫して最多得点球団で過半数の試合を実施しており、近年は右肩以上という強さを示しています。また、これらの年の栃木も初年度以外は過半数です。「本拠地」を12回に定めている球団はどうかでしょう。群馬は本拠地を定めた2014年以降より比率が顕著に上がりました。



